

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立玉幡中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は、全国よりも低く課題があります。特に「読むこと」については、登場人物の言動の意味を考え内容を理解することや、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題がみられます。
- ・数学の平均正答率は全国平均とほぼ同程度と考えられます。数学の苦手な生徒も粘り強く取り組むようになっていることが読みとれます。全体的に基礎基本が定着しつつある一方、事象を数学的に解釈し問題解決の方法を数学的に説明したり表現したりすることに課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・良い傾向がみとめられる項目
「毎日同じくらいの時刻に起きている」「自分にはよいところがある」「自分でやると決めたことはやり遂げる」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」「学校行くのは楽しい」「友だちと協力するのは楽しい」「友だちと話し合うとき最後まで聞くことが出来ている」「道徳の授業では自分の考えを深め友だちと話し合っている」「国語の授業は大切だ」「数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている」等について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「普段のテレビゲーム等、1日あたりの使用時間」「普段の1日あたりの勉強時間」「新聞を読む」「資料や文章、話の組み立てを工夫して発表する」「目的に応じて自分の考えを話したり質問したりする」「自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書く」「数学の授業で学習したことを普段の生活で活用できないか考える」「英語の勉強が好きか」「日常的に授業以外で英語を使う機会があるか」等、自分の考えを話すこと、書くこと、学んだことを活用すること、家庭での学習等に課題があります。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・学級活動を含め、全教科で言語活動を充実し自分の考えを書いたり発表したりする授業を、さらに行っていきます。
- ・家庭学習の定着のために、夕学と振り返りの学習や家庭学習ノートの取り組みを継続して行います。
- ・キャリア教育等、将来の夢や目標をもてるような取り組みを行っていきます。
- ・話し合い活動を設定し、自分の考えを深めたり広げたりするために主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組めます。
- ・「読むこと」の学習では、文章全体と部分の関係、例示の描写の効果、登場人物の言動の意味を考える活動を取り入れていきます。作者のものの見方・考え方を正しく捉え自分の考えを広げていく力を伸ばしていきます。
- ・数学の学習では、例題にならって解くだけではなく、数学的な考え方を生徒に表現させる機会を増やしていきます。また、日常生活の問題を、数学を活用して解決できるようにしていくため、問題解決の方法に焦点をあて、その手段や適切に表して問題解決にあたっていく活動を大切にしていきます。
- ・英語の学習では、英語で自分の意見を伝える場面を作り、英語への自信をつけられるよう授業の工夫をしていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・学習の定着を図るために、家庭での学習時間を確保してください。
- ・学校での出来事、新聞や読書の内容を親子で話し合う等、更にコミュニケーションを充実させてください。
- ・テレビの視聴時間、携帯・スマホ・ゲームなど、長時間の使用をしないよう家庭での使用について約束を決めてください。